



抱負と目標

新年を迎えたばかりと思っていたら、もう1月も終わろうとしています。早いですね。みなさんは「新年の抱負」を立てましたか。ところで、「抱負」と「目標」という言葉、似ている感じがしますが、辞書で調べてみると、ちょっと違いがあるんです。

「抱負」…「心の中に抱いている決意や志望」

「目標」…「そこに行きつくように、またそこから外れないように目印とするもの」

つまり、「目標」は自分が到達したいゴール地点そのものを指すのですが、「抱負」は、目標だけでなく、その目標にたどり着くまでの行動計画や意気込みを含んでいるのだそうです。目標を達成するためには、具体的な計画とそれを実行するための強い決意が必要だということです。

みなさんは学校生活の節目である4月に「今年度の目標」を立てたことでしょうか。今の時点で達成率はどれくらいでしょうか。その目標を100%達成させるために、さらにどんなことができますか。今こそ実行計画を見直し、決意を新たにするときです。1日1日を大切にしながら3学期を過ごしていきましょう♪

<都立高校入試関連カレンダー>

～2/5	都立一次・分割前期 出願情報入力・書類提出
2/12	都立一次・分割前期 願書取下げ
2/13	都立一次・分割前期 願書再提出
2/21	都立一次・分割前期 学力検査
3/2	都立一次・分割前期 合格発表
3/5	都立二次・分割後期 入学願書受付
3/6	都立二次・分割後期 願書取下げ
3/9	都立二次・分割後期 願書再提出
3/10	都立二次・分割後期 入試
3/13	都立二次・分割後期 合格発表

※全日制に関する日程のみ記載しています

3年生のみなさんへ

先日の生徒会朝礼で、1、2年生から

3年生に向けてエールが送られました。卒業を前に、それぞれの進路に向けてがんばっているみなさんを私たちは応援しています。でも、どんなにコツコツ努力を積み重ねていても、時々不安な気持ちにかられるかもしれません。先に進路が決まっていく仲間を見て焦るかもしれません。それは先輩たちもみんな通ってきた道です。そして、必ずあなたにもゴールが見えます。自分と周りのみんなを信じて走り切ろう！



浅中生の底力を見せるとき！<基礎学力向上コンテスト>

1月23日（金）に実施された基礎学力向上コンテストの結果は以下の通りです。

	コンテスト内容	満点（受験者数）	平均点	合格者率
1年	スペリング	94人（135人）	95.7点	95.6%
2年	スペリング	63人（115人）	93.5点	93.9%

1、2年生ともに今年度最後はスペリングコンテストでしたが、どちらも申し分のない結果ですね。

1年生は、初めの頃は単語を覚えることに苦手意識が強い生徒が多かったように思います。プレテストでは不合格者が60名も出てしまいましたが、補習で集中力と覚え方のコツを習得し、補習終了時には、目標を「合格」から「満点」に変えられるほど自信がついた人もたくさんいました。個々の努力も大きいですが、英語の授業の始めにみんなでしっかり発音を確認し、ペアで単語テストの採点をし、励まし合いながらクラス全体で取り組めたこともよかったですね。

2年生は、今の英語学習に直結する過去分詞を覚えるべく、不規則動詞の活用50セットに取り組みました。1年生で覚えた原形―過去形のセットにもうひとつ加えるだけ…とはいえ、毎日の家庭学習では、最低でも450個の単語を書く[＝3（個）×3（回）×25（セット）×2（両面）]という練習量を黙々とこなしていましたね。本当によくがんばりました。1問ミスが29人いて、ちょっと悔しい思いをしたかもしれませんが、「覚えておいてよかった」と思う場面がこれから何度もありますから、この努力は決して無駄にはなりません。

5回の基礎学力向上コンテストの取組を通して、みなさんは自分の底力のすごさに気づけましたか。「無理だ」「苦手だ」と思って、初めは気乗りがしなくても、いつの間にか「合格したい」というやる気モードに切り替わっていったかもしれません。「合格できたらいいかな…」くらいの気持ちから、「これは満点を取ることも可能だ」という自信へと変わっていったかもしれません。たとえ合格できなかったとしても、補習でのがんばりを先生方から褒めてもらった人もいます。3年生のみなさんは、この浅草中独自の学習行事での経験を誇りにし、今後の進路先でも、自分の持てる力を惜しみなく発揮してください。1、2年生は、来年度のコンテストに向け新たな目標を据えるとともに、今まで培ってきた根気強さを普段の学習にも活かしていきましょう。



さて、グランドスラム達成（5回連続満点）と優秀賞（5回中4回満点、1回だけ96点）の対象者が決まりました。表彰は3月なので、少しお待ちせしますが、楽しみにしててください。